

令和3年度 第8回

日南市教育委員会

会議録

令和3年10月25日(月) 午後3時から
日南市役所・プレハブ会議室(北301号室)

- 1 会議の名称 令和3年度教育委員会 第8回会議（定例）
- 2 会議日時 令和3年10月25日（月）
午後3時から午後4時20分まで
- 3 出欠確認
 - (1) 出席委員 都甲政文 郷谷純一 崎村洋子 黒木由香 別府信一
 - (2) 事務局 生涯学習課長
学校教育課学校教育担当監
学校教育課管理係長
学校教育課管理係主査
- 4 場所 日南市役所・プレハブ会議室（北301号室）
- 5 傍聴者 1名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和3年度第8回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【佐藤係長】
「事務局は、甲斐部長が所用のため欠席です。」

【都甲教育長】
「傍聴者は1名お見えになっております。よろしくをお願いします。」
- 8 活動報告
 - (1) 教育長活動報告
【都甲教育長】
・9月29日より学校訪問が始まりました。29日飫肥小、10月7日潟上小、11日細田小、14日大窪小、19日酒谷小となっています。後ほど、委員の皆さんより感想を願

いします。

・10月3日、24日は、体育大会と運動会があり、3日は鶴戸小中と飢肥中、24日は潟上小、細田・大窪合同に行かせていただきました。3日はちょうど新型コロナで制限がかかった後だったので、学校に行って練習が足りなかったとは思いますが、その中でも一生懸命頑張っている子ども達の姿がありました。24日で印象に残ったのは、細田・大窪合同で少ない人数ですが、保護者の方が一生懸命役員をされてみんなで作っているような運動会でした。

・10月12日、いじめ・不登校担当者がございました。毎年2回やっているのですが、今回は新型コロナの関係で1回のみとなってしまいましたが、本市のいじめ不登校の現状説明や発表、協議を行い、今後の各校の対応の充実を図ったところでした。

・10月13日、20日にALTの辞令交付式を行いました。新型コロナの影響で1年遅れましたが、ダニエル、サラ、アビゲイルの3名が着任しました。今後は、クリス、ブライアントと5名体制となり、外国語指導の更なる充実が期待されるようです。

・10月18日、絵本の寄贈がございました。TV、新聞等で報道があったところですが、宮崎市在住の星野和寅さんという方から絵本を寄贈していただきました。お爺様が飢肥油津間の軽便鉄道開通と油津の祇園神社の移転に尽力されたことを、和寅さんのお父さんが撮られた写真を基に自ら絵を描かれ、絵本を自費出版して市内の全小中学校と図書館に寄贈していただきました。

・同日、市内の特別支援施設を市長と訪問しました。市内3か所を訪問しましたが、どの施設も職員一丸となって児童・生徒に向き合ってもらっていました。今後とも連携をしっかりととっていきたいと思いました。

・10月22日、社会福祉協議会を表敬訪問しました。日南海岸が大雨による土砂崩れで不通となっているため、鶴戸小中学校の児童・生徒に通学バスとして市教委でバスを出していたのですが、どうしても日程的に厳しい日に社協からバスを出していただきましたので、そのお礼に行ってきました。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

・9月27日に飢肥小の訪問に行かせていただきました。印象に残ったのは、子ども110番のステッカーを貼っていると思うのですが、のぼり旗をPTAで作って各所に掲げていると。すぐに見わけもつくし、なにより良かったのが、その旗と掲示している方と一緒に写真を撮ってそれを保護者に配っているのが、地域との繋がりを示すすごくいい取り組みだなと思いました。他の学校でも活用していくといいのではと思いました。

10月7日潟上小にお伺いしました。朝のボランティア活動をされているということで、朝登校してから掃除をして、それでそういった人が増えていくという話を聞いて、すばらしい取り組みだなと思い、勉強させていただきました。

10月14日大窪小にお伺いしました。小規模の学校訪問は初めてだったんですが、本当に子ども達が素直で授業風景を見させていただいて、ただ、小さい学校だからこその悩みだとか、大きい学校との合同の時に委縮したりとか、先生が近くにいるがために自分で決められずにいるという苦労があって、その辺りは先生方が色々と工夫されて取り組まれている様子を見させていただき勉強になりました。

3校通して思うところなんですけど、いのちの授業の授業内容が保護者を巻き込むことで効果が2倍にも3倍にもなるんじゃないかと思って、ぜひ参観日と組み合わせるとすごくいい取り組みになると思いました。

【崎村委員】

・ 飢肥小と細田小に行かせていただきました。飢肥小は肥満気味の子ども達の、夏休みのランチを一緒に作って食べるということでしたので、どういう形でされているのかなと思ってましたが、おにぎりとか一緒に食べながら食生活の指導をされて、去年も同じようなことをされてよかったなと思います。

不登校に関しては飢肥小も3人ぐらいいるということで、ただ、家庭との繋がりは持っているのと、支援教室にも5月ぐらいから行けてないが、それでも週1回は登校できているということなので、なんとかうまく学校との繋がりを持っていけるといいなと思います。ちょっと心配だと思ったのは細田小の市外から来られた1年生の不登校について、なんとか学校との繋がりは持っていても職員の先生方も少ないので、学校だけでなく、こども課や福祉課など色んなところと繋がりを持って、1年生のうちに何かできないかなと感じました。以前、南郷町の頃に1年生が学校に2学期から来れなくなって自宅訪問でも保護者に中々会うことができないことがありました。親族等関係者含め全員を巻き込んで対応した結果なんとか登校できるようになりました。その子供も今は成人になり働いていることからうまくいったケースかなと思いますので、そういった取り組みができればと思いました。

【黒木委員】

・ 11日に細田小、19日に酒谷小を訪問させていただきました。2校とも小規模校ということで、どちらとも先生の負担が複式の授業等含めものすごく大変だなと思いました。先生の労力がそれ以外のところでも多く感じられたので、そこが課題なのかなと思いました。

あと、どちらの学校でも、小さいながらサポートが必要な児童・家庭があるので、そこが先生方の負担になってるのは間違いなくて、ただ、学校というのがサポートを必要とする児童・家庭との唯一の繋がり場でもあるので、この義務教育の9年間、学校というのは本当に必要だなと実感したところでした。

いつも学校訪問するたびに、特に低学年でタブレットが落ちないとか、高学年になると教材が増えて机の上が一杯になるのが気になってたんですが、酒谷小は机の前に

タブレットや教材が落ちないようにこぼれ止めを付けていて、大きな学校だと教室のキャパで難しいとは思いますが、こういったものがあると、特に低学年は安心かなと思っただけでした。

【郷谷委員】

・10月7日に潟上小、14日に大窪小、19日に酒谷小と3校訪問させていただきました。潟上小が児童数86名で、大窪小が8名、酒谷小が7名と児童が少なく、先生方も大変だなと思いました。3校とも共通して授業を参観して、空き教室を利用して先生方が色々工夫されて状況がわかりましたし、タブレット等のICT教育の活用について一生懸命取り組んでいらっしゃるなという印象を持ちました。

【都甲教育長】

・学校訪問につきましては改めてお礼を申し上げます。皆さん資料をよく読んでいただいて、それぞれの学校に合った質問をしていただいて内容が深まっています。また、学校から報告がくるんですが、学校としても次の教育活動に活かしてくれていますので、また後半も続きますがよろしくお願ひします。

9 前回の議事録承認

第7回の議事録について了承

10 研修「学力向上について」 ～上村指導主事説明～

【別府委員】

全国学力・学習状況調査での問題を実際に見て、まず問題の意味を理解するのが大変だなと感じました。子どもに問題の意味を理解させるトレーニングが大事なのかなと。例えばですけど、小学校1年生の参観日とかで、6年生になったらこういう問題を解くんだけど、これは読書する習慣がないと解くことが難しいから今のうちにぜひ読書させてくださいということで、読書の大事さを1年生の保護者に薦めることもいいと思います。

【黒木委員】

学校訪問でも出てたんですけど、語彙力が低下しているのをどこの学校でも聞くし、SNSが発達していて会話が短くなって文字だけのやりとりだけで、子ども達の中でもトラブルが起きたりすることもあるといことなので、読書することが大事ななと学校訪問の度に年々感じるようになってきています。学校・家庭でもなぜ読書が必要なのかを低学年の時に説明していただいて親子で読書に取り組んでいかないと、文字離れ・活字離れが進んで、漢字も書けなくなるんじゃないかと自分の中で感じてまして、読書というものが大事なんだとこの研修で改めて感じました。

【郷谷委員】

具体的にこういう例を保護者に出してもらおうと理解が深まるかもしれません。

【黒木委員】

「聞いたよ、はい。」だけになってるし、親の方がどのくらい理解しているか。しているところとしていないところの差がどんどん出てくるんじゃないかと思います。

【崎村委員】

以前、何曜日は親子で読書する時間をとりましょうということがあったと思うんですけど、今それも家庭の色々な事情の中で難しくなって、そういう方針が最近聞けないなと思うんですけど。時代の流れでSNSの方が発達していった子ども達の語彙力がなくなったということ聞きますので、なんとかできるといいかなと思うところがあります。

【黒木委員】

子どもとともに、親の方の意識を育てないとだめだなと。

【甲斐担当監】

日南市としては、23日を「読書の日」として位置付けて、学校もその日は宿題を出さない方針になっていると思います。

【崎村委員】

そういう日にちを設定するのは、すぐには浸透しなくてもそういう日なんだと意識付けをしていくといいですね。

【都甲教育長】

思うんですけど、不思議と親御さんが本を読むところは、子どもも読むんですよ。静かに家族で読んでるとか。

【上村指導主事】

全国の結果からも、家にある蔵書の数が多い家庭ほど成績が上がる、平均があがる傾向にあります。どっちが先か因果関係は不明ですが、相関関係は確実にあるみたいです。

【黒木委員】

先生方からの意見として、漫画は意味があると思いますか。絵の方に目がいくんでしょうか。漫画も本だからという声も聞くんですが、どうなのかなと思いました。

【都甲教育長】

文章で読むことによって頭の中で想像するのかなので、漫画だとどうしても絵が先に入ってから吹き出しの文字とかが入るので、ちょっと違いますよね。

【崎村委員】

昔、歴史だといいですよという方に小学校低学年の先生方が言われたことがあったんですが、図書館にある歴史の漫画本とかでもいいですよ。子ども達が本に興味を持つことに対してはそういう風に言われたことがあったんですけど、やはり種類によるのかなと。

【教育長】

絵というのは、一発で入ってくるので、視覚に訴えやすいです。

読書が好きな子はどんどん頭の中で映画館が始まっているわけで、ああいうのがあるから読んでいくし、読めない子はなかなか続かないんですよ。字面だけ追ってしまって、途中でダウンして続かないっていうか。

【黒木委員】

それは小さな積み重ねが影響すると思いますか。低学年の絵本だったり、小さなところから少しずつ文章量を増やしていくことで、継続して読んだり想像する力がついてくるのかなと。

【都甲教育長】

やっぱり習慣づけと思うんですね。ずっと小さいときに読んでなくて大人になってから読むということは、よっぽど興味が無い限りあまりないんじゃないですか。読み続けている人は平気で読めるし、いつも文庫本を持っている人がいるじゃないですか。少し時間があると文庫本を読んでいるところを見ると、この人はずっとそういう人生を送ってきたんだろうなと思うわけですよ。

【崎村委員】

3か月健診とか6か月健診とかにボランティアで行ってたんですが、その時に絵本の読み聞かせとかをすると、3か月健診の赤ちゃんでも絵本をちゃんと聞いて、目で追うんです。ブックスタートというのは大事なんだなとその時思ったんですけど。

【都甲教育長】

今回説明がありましたけど、各学校で必ずするのが学力の個人差とか習熟がなかなかできない。これなんですよ、やっぱり個人差を見るために個票をちゃんと活かして、個人個人に何をしたらいいか伝え、習熟のために家庭との連携を取らなければならぬ。

これを地道に続けていかないと個人の学力は続いていかないし、逆にそれをやっついていかないといけないということですね。これは永遠のテーマじゃないと。

学校というのは、ちゃんと学力をつけてあげて将来自分を実現していくための手助けになればということです。

1 1 議題について

協議 1 令和3年度他市町村教育委員会との意見交換会について

(蛭原主査) (都甲教育長)	令和3年度他市町村教育委員会との意見交換について説明。 昨年は学校運営協議会の制度についてというテーマで行こうとしていたけど、新型コロナで行けなかった経緯があります。
-------------------	--

今年1年テーマが変わってかもしれませんので、そこはご自由に考えていただいて結構ですので、調整させていただきます。

1.2 報告について

報告1 「日南市立小中学校における働き方改革推進プラン」の策定について

(甲斐担当監)

「日南市立小中学校における働き方改革推進プラン」の策定について説明。

(別府委員)

業務の実態について初めて聞きました。その中で、先生方の時間外の実態で、昨年はPTAが挙がっているんですけど、今年は挙がっていないのは新型コロナの影響で球技大会や奉仕作業とかなかったのが影響していると思っています。新型コロナの影響が明けてからのPTA行事が増加するのかなというのがターニングポイントかなと思っていて、これまでやってきた行事をそのまま復活させたいPTA会長もいれば、校長先生と話して選択して実施する会長もいる中で、大切なのはPTAと学校でよく話し合って、いい落としどころを作ってもらえるのがいいのかなと。それと、今回働き方改革にしても、県や市のPTA会長にも状況を伝えて、各学校のPTA会長に現状を伝えて、今後のことを協議して欲しいと思います。

(都甲教育長)

これはPTAに説明する機会を設けるんですね。

(甲斐担当監)

学校ではPTA役員含めて話してもらい、市としては委員の言われたように会長に事前に話した方がよいとも思います。

(都甲教育長)

市の役員が集まるような会がありますよね。その中で説明する必要があるのかなと。二重にですね、そこで話して、合わせて学校で説明するという。

(黒木委員)

PTAの立場として、特に校長先生は何かあれば教頭先生にというのが根付いているので、それだけ負担かけているんだというのが数字に表れているのでびっくりしたところなんですけど、今はPTAの組織の在り方が問われている時代で、もっと家庭と学校の役割を明確にさせていただいてもいいかと思いました。

私たち、私たちの親の世代だと、補導等何かあれば学校や先生が対応するんだということがありましたが、これからの時代はそうじゃないということをはっきりさせていただいて、保護者にも、文書とかだけでなく、年度初めの参観日の時でも学校の役割を明確にいただければと。例えば通学路を決めるのは学校ではないけれども

(郷谷委員)	<p>保護者としては学校の仕事だと思っている方がほとんどだと思うので、そこでPTAという組織が意味を持つてくると思います。PTA入っても意味がないと思う方がどんどん増えている中で、子どもを見守るのは親の仕事で、学業や安全面、健康面においても親の役割ははっきりさせられるじゃないかと話しを聞いて感じました。</p>
(崎村委員)	<p>あと、教育委員と学校と市のPTAの協議会はもっと密に情報共有したり、市Pへ保護者に対する要望を伝えていただくと。学校の現状や親ができること、しなければならないこと、そもそも、子どもは親の責任で育てるものだから、もっと親が責任を持たなければならないことを親に対する意識付けを付けるためにも、はっきりと伝えてもいいのではないかと感じました。</p>
(都甲教育長)	<p>甲斐担当監の説明で内容はよく理解できたんですが、裏を返せば子ども達のことを一生懸命考えている結果、先生方の働く時間が増加している面もあると思います。全体的な教員としての仕事を考えたときに、結果として健康を害してはなりませんので、メンタル面も含めて、体調不良の先生が増えたとかそういう面も資料と一緒に先生方の実態を説明していただくと理解がより深まると思います。</p> <p>うちの教育委員会は、ありがたいことに教育委員に現職のPTA役員さんがいて、実際の子どもの育てていらっしゃるの、こういうときに生の声がそのまま反映されるのと、PTA役員をされている中で、PTA協議会の一員としても理解してもらえ、学校教育課とか学校の働き方改革に対しても理解してもらえるとというのがすごくいいと思います。</p> <p>これは、結局は先生たちが子どもと向き合う時間を作るということなんです。こういうことをやって教育の質が低下することがあってはいけないと思うんですね。我々も覚悟を決めてやらなければならないということで、しっかりPTAや校長先方に伝えてやっていければと思います。</p>

1 3 その他

(1) 11月行事予定について

(2) 第9回 教育委員会会議 (定例)

- ① 日時 令和3年11月25日(木) 午後3時00分から
- ② 場所 日南市役所・プレハブ会議室(北301号室)

1 4 閉会